

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書 平成30年 6 月 1 3 日 愛 知 県 知 事 殿 提出者 住 所 愛知県知多市三反田3丁目1番地の2 氏 名 西知多医療厚生組合 管理者 鈴木淳雄 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0562-32-1597 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	公立西知多総合病院
事業場の所在 地	愛知県東海市中ノ池三丁目1番地の1
計画期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	83：医療業
②事業の規 模	病床数：468床
③従業員 数	931人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物→収集運搬業者に委託して焼却施設に運搬後、焼却（中間処分）→埋立処分（最終処分）

（日本工業規格 A列4番）

（第2面）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 公立西知多総合病院 院長 ↓ 感染対策委員会 委員長（特別管理産業廃棄物管理責任者） ↓ 管理課 アメニティ推進・用度担当（廃棄物担当）			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出 量	１３４．７９２ t	t
	(これまでに実施した取組)		
	現場における廃棄物の分別の徹底。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出 量	１３４ t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	感染対策委員会にて院内巡視を行い、廃棄物の適正処理及び分別の徹底を図る。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：注射針、メス等の鋭利なもの、血液等付着した可燃物、病原微		

		生 物に関連した検査等に用いられたもの（オートクレーブ滅菌済み）等の感染又は感染のおそれのある廃棄物 取組：一般廃棄物、非感染性廃棄物と分別して保管
	②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし

（第3面）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）			
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）			

	②計画	【目標】 <table> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr> <tr> <td>自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(今後実施する予定の取組)</td></tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類			自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の種類														
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t												
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t												
(今後実施する予定の取組)														

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項											
	①現状	【前年度（平成29年度）実績】 <table> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>自ら埋立処分を行 った 特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(これまでに実施した取組)</td></tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類			自ら埋立処分を行 った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	(これまでに実施した取組)		
特別管理産業廃棄物の種類											
自ら埋立処分を行 った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t									
(これまでに実施した取組)											
	②計画	【目標】 <table> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>自ら埋立処分を行 う 特別管理産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(今後実施する予定の取組)</td></tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類			自ら埋立処分を行 う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の種類											
自ら埋立処分を行 う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t									
(今後実施する予定の取組)											
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項											

①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	１３４．７９２ｔ	ｔ
	優良認定処理業者への 処理委託量	１３４．７９２ｔ	ｔ
	再生利用業者への 処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への 処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） ・委託業者は、優良認定処理業者とする。 ・委託先の現場確認を実施する。		

（第５面）

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	１３４ｔ	ｔ
	優良認定処理業者への 処理委託量	１３４ｔ	ｔ
	再生利用業者への 処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者への 処理委託量	ｔ	ｔ
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	ｔ	ｔ

		(今後実施する予定の取組) 定期的に委託先の現地確認を実施する。
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が 50 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④ 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分にに関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 14 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。